



# 笑顔あふれる常盤小学校



笑顔とあいさつ、歌声あふれるわが母校

学校教育目標 「かしこく やさしく たくましく」 ～生きる力・夢見る力の育成～

児童数 男子339名 女子328名 計667名 TEL 048-571-4923

深谷市立常盤小学校長 白井 裕一



## 「太陽は、夜が明けるのを待って昇るのではない」

常盤小学校では、4年生が二分の一成人式を行い、児童一人一人が将来の夢を発表しました。どのクラスの子も立派な態度で臨み、みんな大変よくできたと思います。

さて、将来の夢や希望を実現するためにはそこに達するための道筋を自分で描き、日々努力することが重要です。

「太陽は 夜が明けるのを待って昇るのではない 太陽が昇るから夜が明けるのだ」は、教育に生涯をかけられた東井義雄先生の言葉です。自分の置かれた環境に責任転嫁をするのではなく、自分から始めようという意志と勇気が重要だ、とおっしゃっています。

私は挨拶などでよく、「明けない夜はない」と、児童の皆さんに言って元気付けます。苦しい時やつらい時もやがて終わりが来るという意味ですが、太陽が自分で決めて昇っていくようにどんなに困難な環境にあってもチャレンジする気持ちを持ち続けることも大切です。夢や希望は、ただ漠然と思い描くだけにとどめないで夢や希望をかなえるため、自分なりの道筋をたてて一生懸命取り組むことが望まれます。同様に「春の来ない冬はない」も、よく児童の皆さんに言う言葉です。皆さんは、春には一年上の学年に進んだり中学生となったり新たな節目を迎えます。夢や希望にむかってよいスタートを切ってほしいと思います。そのため、自分の「やる気スイッチ」をオンにする必要があります。人生の宝は様々な出会いだ、といえます。しかし、どんな素晴らしい人や教えに出会っていても自分にスイッチが入っていなければ反応することすらできないのです。春の新たなスタートに向けて自分のスイッチを入れて、希望に向かって動き出しましょう。希望はすぐには見つからないかもしれませんが、しかし、黙々と励んでいると、希望のささやきが聞こえるものです。学校生活の一日一日を焦らずに充実させていきましょう。継続の力を大切に、自分を信じて頑張りましょう。

最後に、2月19日（金）と2月25日（木）に予定しておりました授業参観は、緊急事態宣言延長を受け、保護者様には申し訳ありませんが中止といたしました。

## 引き続き、感染症予防にご協力を

1月、新型コロナウイルスに係る緊急事態宣言の発令・延長が発令されました。今は深谷市でも感染の勢いがやっと落ち着いてきたようですが、引き続き**マスクの着用、手洗い・うがい・換気の励行、極力三密を避ける、十分な睡眠をとる等**の体調管理に努め、児童の感染予防にご協力くださいますようお願いいたします。また、体調がすぐれないときは無理に登校しないこと、速やかに医療機関を受診していただくようお願いいたします。児童が4月から、円滑なスタートを切るために、ご協力をよろしくお願いいたします。

